

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名: 夢門塾ゆうゆう奈良津

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	0	4	0	学年が上がるにつれ、空間スペースの確保が不十分なため、工夫を凝らしていけたら。
	②	職員の配置は適切である	0	2	2	職員の働きやすい環境設定、福利厚生の見直しを図る。
	③	衛生面の管理が行き届いている	3	1	0	決められた日・曜日で定期的に清掃を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	0	CAIについては不十分。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	非常に参考になり、またモチベーションUPにもつながる。
	⑥	自己評価の結果を公開している	2	2	0	している。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	1	3	0	朝礼にて日別で本の内容等を勉強会として行っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	0	0	半年に一回面談を行い、本人と保護者の意思を確認して個別支援計画を作成している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	2	2	0	行事企画等話し合いで決めている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	2	2	0	月別活動計画の見える化とし、行事カレンダーを作成して飾っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	1	0	レクリエーション企画書を行事ごとに作成し、目的を明確化している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	0	0	マンツーマン対応やその時の状況に応じて対応している。
	⑬	支援開始前に、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	公文担当やマンツーマン対応等朝礼で話している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	水分の摂取、おやつ購入等を用紙に記入している。記録の割り振り表を使用し、もれのないよう工夫している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	3	1	0	半年に一回面談を行い、本人と保護者の意思を確認して個別支援計画を作成している。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	0	4	0	ガイドラインの見直しを勉強会で話し合いをしている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	2	2	0	学校から保護者に配られる学年便りを各学校ごとにコピーをとって保管している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	1	1	2	先方と自事業所の営業時間が真逆なので連携がとりづらい。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	3	1	相談支援事業所等関係機関へ、二か月に一回活動写真を載せた報告書を作成し、持って行っている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	0	全体での研修は少ないと感じる。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4	0	0	連絡帳、送迎時に口頭で伝達している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	3	1	0	契約時の説明、玄関に飾っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	0	0	行なっている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	4	0	0	半年に一度行っている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	その日のうちに管理者より電話なし、顔を見せる対応を心がけている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4	0	0	一ヶ月に一回子どもの写真付きお便りを配布している。
	㉗	個人情報に十分注意している	4	0	0	契約時に了承サインを頂いた方についても、インターネット掲載はTELにて再確認を行っている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	0	4	0	今後に向けての検討材料。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	2	2	0	各マニュアルを作成、保管している。とくに送迎車には各車に救急セットと事故発生時パニックを起こした時でも大丈夫なようにをのっている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	3	1	0	一年に二度行っている。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	0	一年に一度行っている。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	3	1	0	未だ作成したことがない。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	3	1	0	行なっている。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	2	2	0	しているが、甘いので検討材料としていく。